



寺島 雅典(てらしま・まさのり)氏
県立静岡がんセンター胃外科部長
1983年岩手医大医学部卒。87年大学院修了。94-95年米国ハーバード大留学。2002年福島県立医科大学第一外科助教授。07年同大付属病院臨床腫瘍センター部長、教授。08年から静岡がんセンター胃外科部長。日本消化器外科学会指導医など。

胃がんと環境的要因

WJH(世界保健機関)によると、世界におけるがんの罹患(りかん)率の中で胃がんは男性では4番目、女性では5番目です。男女合わせた胃がんの罹患率は2番目、死亡率は4番目になっています。国内の死亡率は減少傾向で、男性で第2位、女性は3位で

胃がんの早期発見と最新治療

県立静岡がんセンター
胃外科部長
寺島 雅典 氏

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その

胃がんは地域性の高いがんとしても知られています。アジアに非常に多く、世界全体の73%を占めています。その



静岡県立静岡がんセンター公開講座第7弾「がんを知る～最新医療と暮らしの応援～」(静岡新聞社・静岡放送主催、県立静岡がんセンター、静岡県立大学共催、スルガ銀行特別協賛、静岡市後援)の第4回講座が昨年12月18日、静岡市民文化会館で開かれ、寺島雅典胃外科部長と、福地智巴医療ソーシャルワーカーが、「胃がんの早期発見と最新治療」、「緩和ケア～心と暮らしの調和を求めて～」をテーマに講演しました。その概要をお伝えします。
〈企画・制作／静岡新聞社企画事業局〉

緩和ケアの幕開け

1948年、国連総会で世界人権宣言が採択されました。60年代になるとこの権利が「患者の人権」にまで広がり、終末期にある患者へのケアの重要性が議論されるようになり、70年代後半には、67年英国に終末期の患者を対象にした「聖クリスト

ファイアホスピス」が設立されます。施設の中心人物であるシン

ファイアホスピス」が設立されます。施設の中心人物であるシン

ファイアホスピス」が設立されます。施設の中心人物であるシン

ファイアホスピス」が設立されます。施設の中心人物であるシン

ファイアホスピス」が設立されます。施設の中心人物であるシン

ファイアホスピス」が設立されます。施設の中心人物であるシン

緩和ケア、心と暮らしの調和を求めて

医療ソーシャルワーカー
福地 智巴 氏

リー・ソングラス医師は、がん末期の痛みを和らげる、モルヒネの研究・開発を行い、緩和医療の進歩に貢献しまし

リー・ソングラス医師は、がん末期の痛みを和らげる、モルヒネの研究・開発を行い、緩和医療の進歩に貢献しまし

リー・ソングラス医師は、がん末期の痛みを和らげる、モルヒネの研究・開発を行い、緩和医療の進歩に貢献しまし

リー・ソングラス医師は、がん末期の痛みを和らげる、モルヒネの研究・開発を行い、緩和医療の進歩に貢献しまし

リー・ソングラス医師は、がん末期の痛みを和らげる、モルヒネの研究・開発を行い、緩和医療の進歩に貢献しまし

リー・ソングラス医師は、がん末期の痛みを和らげる、モルヒネの研究・開発を行い、緩和医療の進歩に貢献しまし



福地 智巴(ふくち・ともは)氏
医療ソーシャルワーカー
1993年早稲田大卒。94年国立医療病院管理研究所(現国立保健医療科学院)に非常勤勤務。97年信愛病院緩和ケア病棟担当。2002年筑波大大学院教育研究科修了。05年より現職。社会福祉士、臨床心理士。

その反省から、終末期ケアの重要性を認識した先駆的な医療者が草の根的な取り組みを展開し、81年にわが国初のホスピス緩和ケア病棟が浜松市に誕生します。

そして、90年には、ホスピス緩和ケア病棟への入院料が健康保険の対象になり、20

逆い、野菜、果物、緑茶は、予防効果が認められています。静岡県は、ミカンやお茶の産地であるため、胃がん患者が少ないと思われま

さらに喫煙は明らかに胃がんの発がんに関係があります。またエプスタイン・バール・ウイルスやピロリ菌が胃がんを誘発します。特に、ピロリ菌に感染して、食塩を過剰摂取すると、胃がんが発生

がんが発生しました。このため、現在では内視鏡治療後の胃がんの発生予防を目的としたピロリ菌の除菌は保険適用となっています。塩分や喫煙、アルコール、ウイルス、さらには脂肪やホルモンなどが胃の細胞のDNAを傷つけ、正常でない細胞が増えることによりがん細胞が増殖するのです。禁煙をし、一日の塩分摂取量を10g未満に抑え、毎日野菜を約400g食べるのが胃がん予防に効果的

胃がんは早期発見と最新治療

質疑応答

事前や当日寄せられた質問を中心に山口建総長を交えて質疑応答が行われました。紙面の都合により、本講座の内容に即した質問事項をまとめました。
Q 胃がんの手術後、一度に食べる量が減り、寝る時間のころ空腹を感じます。就寝前に食事をとって大丈夫ですか。
寺島 寝る前に食べると就寝中に胆汁や食物が食道を逆流し肺に入り発熱する恐れがあります。我慢できないようであれば、消化の悪い固形物や脂肪分を避け、糖分の入った消化のよいゼリーなどを食べてください。
Q がんになった叔父が最後は自宅で家族に看取られなくなりました。叔父の妻が精神的に立ち直れませんが、どこに相談す

胃がんは早期発見と最新治療